

特集 激変!! 地球環境

私たちの暮らすは、地球環境と共にあります。ここ数年地球環境は激変してしましました。四季の美しい私たちの暮らすこの日本も例外ではなく、異常気象と言われ数年。異常気象が通常のことも錯覚する程です。私たちが未永く快適に暮らす為にできることをよく考えのロハスを建築としての観点から、考えたいと想います。



環境と健康を考えて、地球と共に豊かな暮らすことロハス。高性能住宅とオール電化で実現した省エネと健康の住まい空間。長く暮らすモノだから、イニシャルコスト+ランニングコストを考えた住まい、それが、建築工房クームの住まいづくり=ロコハウスです。

高性能住宅+オール電化

住まいのロハスは、環境を変える一歩。

無理のない範囲で、環境や健康を考えるロハスだから、建築工房クームの住まいづくりでお客様に喜んでもらいながら、できることを考えたら、ロコハウスというカタチになった。

なぜ、高性能住宅+オール電化でロハスなの？

高性能住宅とは、高断熱高気密と健康に配慮した住まいです。まず、高断熱高気密だから、少ない熱エネルギーで十分な暖かさが、手に入ります。ということは、それだけ資源を使わずに済むということです。では、オール電化を使わなくてもと思うでしょう。しかし、ロハスは、継続して環境と健康を考えて暮らすスタイルです。無理が無い範囲で行なうエコなので、家計のことを考えた場合、オール電化は、深夜電力で日中の暖房と給湯をまかなうため、とても経済的なのです。建築工房クームでは、まるやかな暖かさでメンテナンスが、殆どかからない低温水パネル暖房システム ロコ(LOCO)をお薦めしています。この暖房システムは、給湯も兼ねているのでとても経済的です。

ロコハウスは、健康にも配慮した住まい

住まいは、暮らしの中心です。住まいで過ごす時間で最も長いのは、睡眠時間です。睡眠時のカラダは無防備です。だから、住まいでの健康への配慮は、必要なのです。ホルムアルデヒドなどによるシックハウス症候群や乾燥・湿気による健康への害を軽減する空間でなくてはなりません。義務づけされた換気システムですが、湿度によって吸排量を自動で調整する24時間換気システムを使用しています。珪藻土の塗り壁や呼吸する壁紙の使用で、さらに湿度調整機能があり、ホルムアルデヒドを吸収分解する素材を使用しています。見えない部分の石膏ボードであっても、ホルムアルデヒドを吸収分解してくれるタイガーハイクリーンボードを使用するなど工夫をしています。

1 泣き崩れる南極

気温の上昇により、まるで泣き崩れるかのように、氷が溶けてゆく南極。

棚氷に巨大亀裂

止まらない地球温暖化の現状。南極では、その影響を実感することが起きています。右の画像は、南極の棚氷が温度上昇により、大きな亀裂が入ってしまったモノです。南極の氷が溶けている状況は、年々目に見える程とされています。南極半島の棚氷は、南極の11%です。それだけの氷が溶けてしまうことが、地球に影響無いとは考えづらく、危機感を拭きません。



溶けゆく棚氷



棚氷に巨大亀裂

ペンギンが消える日

ちょっと前までは、氷で覆われていた世界も、今では、地表が顔を覗かせています。ペンギンたちは、雪解け水が無ければ、営巣できず、繁殖ができないので、数が減少しています。繁殖時期のつがい、1975年の15,200組から現在9,200組となっているのです。



南極に生息しているペンギン

2 小国ツバルの沈む日

海面上昇により、地球上で最初に姿を消すとされる国ツバル。



(C) Shuichi Endou

小さな珊瑚の島

世界で最も小さな国『ツバル』。地球温暖化の影響を受けています。近年では、地中から海水が湧き出しによる畑の侵食・井戸の水も淡水から塩水へ変化・砂浜が削られ海岸の植物が倒されるなどの海岸侵食・海水温の上昇によってサンゴ礁が白化・漁獲高も減ってきている。この先、島が沈むことを考え、政府はニュージーランド政府と協議し、集団移住を計画中です。

3 姿が変貌する富士の山

温暖化による、山頂の雪化粧が溶けて無くなる富士山の現状。



優美な姿が消える

天高く聳える富士の山。日本の世界に誇れる優美な姿。その姿が、今変貌を遂げようとしている。頂きの白い雪が消えるという予測があるのです。それは、言うまでもなく、温暖化によるものです。単なる黒い山と化してしまう。そんな状態になるのは、遠くはないのです。